

「個人質問」 一般質問

第十六回（二月）定例会
では、七人の議員が市政に
ついて質問しました。

議員名	主な質問項目	掲載頁
渡部一二実	防災対策、復旧対策等	8
渡邊 博夫	特定健康診査、乳がん検診、視覚・聴覚の機能低下	8
小澤 隆	鉄道施設跡地利用、不当要求行為等、いじめの犯罪性	9
井原三千雄	コンベンションのまちづくり、鉄道高架事業	9
尾藤 正弘	世界かんがい施設遺産、自転車安全利用五則、個別避難計画	9
岡田 進一	学校給食費無償化、国保子供の均等割減免、高齢者外出支援	9
梅沢 弘	長期財政に関する試算、実質公債費比率、鉄道高架事業	10

※議員名の下にQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の録画映像が視聴できます。
※文面中の波線（~~~~）については、P.10の用語解説を御覧ください。

全ての質問項目（通告一覧）はこちら



乳がん検診の 受診率向上のための取組は

問 乳がん検診の受診率向上のための取組は。

答 市民福祉部長／令和三年度の本市の乳がん検診の受診率は九・五％と低い水準になっている。乳がんは、早期に発見すれば完治の可能性が高いことから、早期発見・早期治療に向けて、広報紙やホームページのほか、ラジオやSNSでの周知、節目年齢における無料クーポン券の配付、十月の乳がん月間に合わせた受診促進キャンペーンや各種健康イベントにおいて啓発活動を行うなど、受診率の向上に取り組んでいく。

問 加齢による視覚・聴覚の機能低下に対する取組は。

答 福祉事務所長／本市の地域包括支援センターの総合相談では、視覚や聴覚に関する個々の状況に応じて医療・福祉等の関係機関と情報を共有するなどの取組を行っている。視覚・聴覚の機能低下は、コミュニケーションや活動量の低下につながるものと認識していることから、引き続き、地域包括支援センターでの対応を行うとともに、視覚・聴覚の機能低下に対する効果的な取組に関する調査研究に努めていく。

渡邊 博夫



女性消防団員の確保に向けた取組は

問 消防団における男女共同参画の推進について、①女性消防団員の配置状況は。②男女別のトイレや更衣室の設置状況は。

答 危機管理監／①本市の女性消防団員は、主に広報活動や応急手当指導などを行う紫明隊に十三人、災害現場で活動する団員として、四つの分団に計七人所属している。第五次沼津市男女共同参画基本計画において現場で活動する女性団員の配置目標を十人としていることから、今後、広報活動に取り組み、女性団員の確保に努めていく。②各消防団詰所



▲様々な場所で活躍している紫明隊

においては、男女別のトイレが設置されている詰所は、一か所、更衣室は全ての詰所に設置されていない。今後は、詰所の構造などの課題を整理しながら、男性・女性団員が共に活動しやすい環境整備に努めていく。

渡部 一二実

